

市議会  
だより

# 議長に吉新諒次氏

## 副議長に石山強氏を選出

市議会議員選挙後、初の市議会(第二回定例会)が五月十五日から二十三日まで九日間の会期で開かれました。  
人事関係がおもで、正副議長や各常任委員の構成について審議され、それぞれつぎのようきめられました。

■市議会議長をきめる  
議長に吉新諒次氏、副議長に石山強氏が選出されました  
■市監査委員をきめる  
市監査委員のうち市議會議員から選任される委員をきめ



議長 吉新諒次氏



副議長 石山強氏

たもので、市長提案の星野仁十郎氏が選出されました。  
各常任委員をきめる  
各常任委員会の構成つぎのとおり。◎印は委員長。○印は副委員長。

- ※総務常任委員会
  - ◎根本 兵七
  - 高松 三郎
  - 神戸 喜重
  - 上田 保蔵
  - 星野仁十郎
  - 寺田 良一
  - 伊藤三樹次
  - 吉新 諒次
- ※建設常任委員会
  - ◎神山 広吉
  - 今泉 正一
  - 森田 晃
  - 金子 和男
  - 増子春三郎
  - 仁保 幸
  - 福田土巨夫

※教育・民生常任委員会  
◎佐藤 保之 ○山本忠二郎  
齊藤 金吉 坂本 貞吉  
土屋 秀雄 飯島邦太郎  
小平 恒治 石山 強  
※観光・経済常任委員会

◎谷田員千年之助  
○鈴木 昌次 鈴木 全也  
青木源四郎 小平 一成  
小林 幸一 湯沢 喜一  
※議会運営常任委員会  
○小平 一成 ○湯沢 喜一  
高松 三郎 土屋 秀雄  
仁保 幸 寺田 良一  
山本忠二郎 今泉 正一  
吉新 諒次 石山 強

※日光地区結核予防組合  
石山 強 小平 恒治  
山本忠二郎 森田 晃  
※日光地区伝染病隔離病舎事務組合  
吉新 諒次 根本 兵七  
神戸 喜重 小林 幸一  
※日光地区養護老人ホーム利用組合  
石山 強 山本忠二郎  
増子春三郎 齊藤 金吉

※日光地区結核予防組合  
石山 強 小平 恒治  
山本忠二郎 森田 晃  
※日光地区伝染病隔離病舎事務組合  
吉新 諒次 根本 兵七  
神戸 喜重 小林 幸一  
※日光地区養護老人ホーム利用組合  
石山 強 山本忠二郎  
増子春三郎 齊藤 金吉

### 教育長に

## 篠崎光太郎氏が就任

五月三十一日付で和氣茂雄氏が日光市教育長を退職されました。一身上のつごうから退職を希望されていたもので、和氣氏が日光市教育長を退職された後任には篠崎光太郎氏が就任されました。



篠崎光太郎氏

和氣氏は市制施行の昭和二十九年四月に教育長に就任されて以来、市政のあゆみとともに日光市の教育行政とつごうくみ、一三年二か月という長いあいだお

ほねおりました。間には細心にして放胆でなければならぬ」というモットーを貫徹され、また、新しいあすの教育をめざして子弟の教育向上に努力されてきましたが、一身上のつごうからこのほど退職されたものです。  
篠崎氏は宇都宮市の出身。佐野中、東京高等師範学校と進んで昭和四年、出身校の佐野中学校で教壇に立ち、以後、神奈川県立湘南中学、足利中学で教鞭をとり昭和十七年に栃木県視学昭和二十一年に定利高等女学校長に就任されています。昭和二十七年に宇都宮女子高等学校長になられていますが、その間、昭和二十四年にアメリカへ留学

ていただきたいおもな点)  
○議会が開かれる当日、受付簿に記載すれば、だれでも議場にはいれます。  
○「秘密会」を開く議決があった場合はすぐに退場する  
○喫煙、雑談、拍子は禁止されています。  
○係員の指示にしたがう。  
■教育委員の任命について同意  
長)が一身上のつごうにより五月三十一日で辞任されるため、その後任者の任命について同意を求めたもので、篠崎光太郎氏が満場一致で同意されました。  
コロンビア大学春学期とジョージ・ビーボテ教育大学夏学期の聴講生となって、これを修了、昭和三十二年県教育委員会指導課長になられ、ここで八年間教育行政とつごうくみ、昭和四十年にふたたび宇都宮女子高等学校長に就任、ことしの三月に同校を退職されています。  
とくに英語教育に造詣が深く長年にわたる学校教育ならびに八年間の教育行政の経験をおととして、今後、市教育全般の進展に大いに期待できる方です。  
明治三十九年十一月二十一日生まれの六一歳。現住所は宇都宮市大曾町四五番地。